

三原市久井歴史民俗資料館 vol.20

モーモー通信



モ〜っと明るく！
ね ん り ょ う
あかりの燃料

あけましておめでとうございます。去年は資料館をご利用いただき、ありがとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

今回は、電気が通るまでの、あかりの燃料についてご紹介します。

昔のあかり
は火だよ。

【木を燃やすあかり】



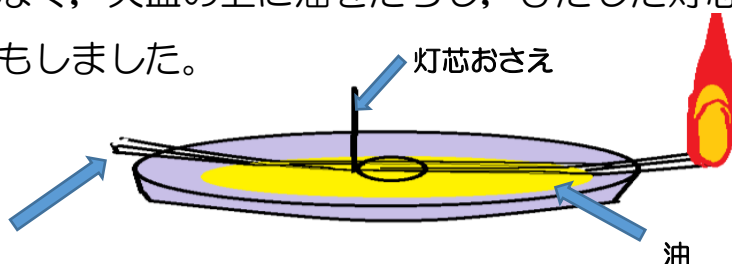
電気がない昔の夜は、想像以上に真っ暗でした。古くから、まきなどを燃やしてあかりとしていました。

→「まつとうがい」といい、上部に鉄製の平らな皿をつけ、そこに木をのせて燃やします。



【油を燃やすあかり】

木について燃料としたのは油です。油に直接火をつけるのではなく、火皿の上に油をたらし、ひたした灯芯の先に火をともしました。



灯芯（イグサやぼろきれ）



↑「ひょうそく」という小さな陶製のあかりの道具です。

★あかりに使われた油★

- ^{なたね}菜種油…アブラナの^{しゅし}種子をしぼった植物油
- 魚の油…ニシン，イワシなどを煮た魚の油
- ^{けもの}獣の油…豚や牛といった動物の^{あぶら}脂
- ^{くそうす}草生水…国産の^{げんゆ}原油

最初は^{さかな}魚や^{けもの}獣の油を使いましたが、においが強く、植物油にうつり変わりました。



【ろうそくを燃やすあかり】

^{むろまち}室町時代から「^わ和ろうそく」がつけられました。原料はウルシやハゼの実からしぼり取ったもので、完成するまで手間がかかりました。

最初は^{こうきゅうひん}高級品でしたが、^{えど}江戸時代になると価格も下がり広まりました。



^{しよくだい}燭台(ろうそく立て)

★「モーモー通信」はHPでも★

調べよう！みはらコレナンダ？（子ども向け）<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/50/104083.html>

つづきは資料館で…

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

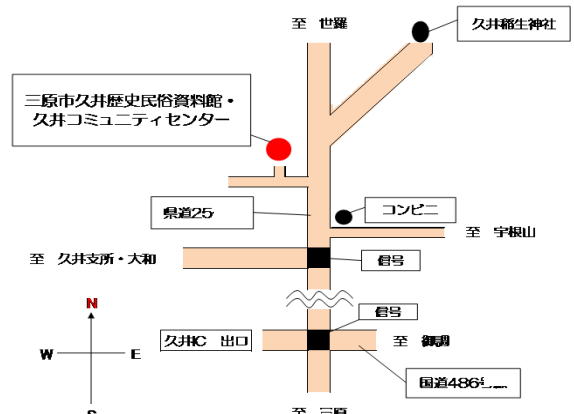
三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合、翌日休館），年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない



★
かっぱのお客さん
★



お知らせ

資料館は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1月9日（日）～1月31日（月）まで臨時休館します。ご迷惑かけします。*感染状況により、延期する場合があります。

